

2021年度 第4回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2021年7月16日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎7階 第2委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時45分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	和田 晃典
	こども育成課長	木下 直樹
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 生涯学習課長 大岸 和義

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

2021年6月22日（火）開催 第3回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

(1) 「第7回おんぷの祭典」実施報告について

第5 議事

- 報告第15号 寄附物件の受納について
- 報告第16号 豊岡市大学生等修学支援臨時特別給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について
- 報告第17号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会の実施報告について

2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 夏季休業中の学校閉庁日の実施について
- (3) 夏季休業中の研修について
- (4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、2021年度第4回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、向井委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。6月22日に開催しました第3回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回6月22日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

6月28日、三江小学校に小西杏奈選手の激励会に行ってきた。豊岡市の子どもたちにとって大事な教材になることを、校園長会でも確認した。小西選手は身長が159cmであり、世界で戦うためには恵まれた体格とはいえないが、工夫と努力で克服した。上半身を鍛えるため、筋トレで30kgの重りを付けて懸垂したり、自分の体重以上のバーベルを持ち上げたりし、筋力を付けた。そして、スタートも水上スタートといって、水の上からスタートをして、自分の筋力を使い、水の抵抗をなくす工夫をし、世界と渡りあえるようになった。筋トレによって、ひと掻きの推進力がぐんと伸びて、世界レベルにまでなった。だから、できないことにはではなく、できることに注目して、できないことを解決しようとした。

このことは、特別支援教育にもいえる。アメリカへ留学経験のある教員に聞いた話だが、特別に支援が必要な子どもが学級にいて、その子どもが毎週、ある曜日になるといなくなる。子どもはスペシャルな学校に行き、その学校で行っていることは得意な部分を伸ばすことであった。得意な部分を伸ばすことによって、学級では「あの子はあんなことができる。すごい。」と言われて、その子どもの自尊感情が高まってくる。日本の通級指導教室などは、視機能が悪ければ、トレーニングする。書字障がいがあれば、字を書けるように一所懸命取り組み、できないことを補おうとするが、子どもたちのものすごい努力と忍耐力が要するため、なかなか成果が出ない。そのことも大切なことではあるが、できること、得意なことに着目し、できることをもっと伸ばすことによって、できないこともできるようになってくるという考え方がピッタリ小西選手に当てはまるのかなと思った。教育的にも意義があるので、そうしたことを思いながら応援してほしいと校園長に話をした。身近に素晴らしい例があることを感じた。

6月29日に「ひょうご未来の高校教育のあり方検討委員会報告書説明会」が総合庁舎で開催され、3市2町の首長と教育長、中学校の進学担当が集まった。これからの高校をどうするのかという検討会の報告があった。内容としては、まず、これまでに何回も行われた高校の教育改革の流れがあった。次に、今の社会状況が昔とは違ってきているので、高校にはこうした人物像が求められるため、このような高校教育をしてほしいということから始まった。私たちが小規模校を統廃合するような課題と同じであった。例えば、子どもの数が減ってくると学級数が減り、学級数が減れば先生の数が減る。今、出石高校でも2クラスしかないが、そうなってくると物理の担当の先生がいなければ、生物や科学の先生が物理を教えることになる。自分の専門ではないこ

とを教えなければならない。すると、大学の受験に対応できないことが出てくる。多様な教育を受けるためには、一定規模の生徒の数が必要であるということであり、私たち教育委員会が伝え進めていることと同じである。

部活動にしても、学校行事にしても、学校規模が小さくなれば、学びたいことが学べなくなってくる。しかし、県教育委員会の考え方は、兵庫県は広いため、都市部では発展的統合を、地方では地域の支援を得ながら存続が可能なのかも含めて検討する。一気に学校をなくすことはしないとしている。

同じテーマで7月6日に地区教育長会があり、次のような話しがあった。但馬地域全体で平成元年は2,955人の生徒を募集した。令和3年は1,320人である。学級数でいえば、平成元年から比べると34学級減っている。8年後の2029年には、さらに6.3学級減り、平均で2.7学級になる。その間に、温泉高校は3年続けて、定員50%を割ったため、2007年に廃校になった。このまま放っておいたら、但馬地域はこうなると県教育長が説明され、「但馬地域はこうした状況でも、どうしても学校を存続させたいのであれば、市町立高校を作りなさい」という提案があった。

成功例として、島根県の隠岐の島の学校が挙げられた。そこは、非常勤講師や学習アドバイザー、あるいは職業人ボランティアを全て町の予算で配置している。それから大学進学率がどんどん上がって、地元からの進学率は45%だったのが、8年間で77%まで回復した。こうしたことであればできるので、やりますかという県教育長からの提案であった。

毎年、県に高校のことについて陳情に行っているが、このままいつもどおりの陳情をしていて本当によいのかという疑問を持った。北但も南但も定員割れしている学校がたくさんあり、但馬地域全体で考えなければならない。陳情するならば、どう陳情するのかをしっかりと議論していかなければならない。もうそういうところまで来ている。また教育委員の皆さんともこのことについて話しをしたい。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。生涯学習課 (1)「第7回おんぷの祭典」実施報告について、生涯学習課長の説明をお願いします。

1 生涯学習課

(1)「第7回おんぷの祭典」実施報告について

《生涯学習課長の説明概要》

「第7回おんぷの祭典」実施報告について、資料に基づき説明する。

6月1日から6日にかけて開催した第7回おんぷの祭典について、総参加者数は3,185名であり、うち、子どもが1,000人であった。

昨年6月のイベントはすべてキャンセルになり、今年は2年ぶりの開催となった。実行委員会で新型コロナウイルスに関する独自のガイドラインを作成し、学校等にお示しする中で、いろいろな企画を実施している。市民の皆さんからは「コロナ禍において、様々な制限がなされ、閉塞感漂う日々の中で、久しぶりに生の演奏を聴くことができ癒やされた」「楽しませる力を改めて実感した」など、感謝や喜びの言葉が多く聞かれた。

学校訪問コンサートについては、2019年から二巡目に入っている。イベントは10回実施する

ということで進めている。残り3回になるが、残りの3年間で中学校も含めて何とか二巡目を終えたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。報告第15号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第15号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体1件、個人1件、合計2件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第16号 豊岡市大学生等修学支援臨時特別給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について、教育総務課参事の説明をお願いします。

○ 報告第16号 豊岡市大学生等修学支援臨時特別給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について

《教育総務課参事の説明概要》

豊岡市大学生等修学支援臨時特別給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

申請期限を、6月30日から7月30日に1カ月延長している。兵庫県の緊急事態宣言の延長等に伴い、申請期限を延長したものである。また、申請書に不備があった場合の補正の期限についても併せて1カ月延長し、8月31日から9月30日までとしている。

(教育長)

ご質問やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市大学生等修学支援臨時特別給付金支給事業実施要綱の一部を改正する要綱制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 17 号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、こども育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第17号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《こども育成課長の説明概要》

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

国の子ども・子育て支援交付金要綱の改正に伴い、延長保育事務補助金と一時預かり保育事業補助金において、対象経費に新型コロナウイルス感染症対策の徹底に要する費用を追加するものである。

延長保育事業補助金の1事業所当たりの上限は、利用定員により、150,000円～250,000円となる。一時預かり保育事業補助金の1事業所当たりの上限は、300,000円である。

(教育長)

ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1)「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会の実施報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1)「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会の実施報告について

《教育総務課長の説明概要》

「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会の実施報告について、資料に基づき説明する。

当初5月の開催予定を延長して、7月1日から12日の間で開催した。参加者231名に対して、

アンケートは126名の回答があった。

意見交換・アンケート結果では、特に日高会場について「統合ありきの答申・説明であった。」など反対の意見が非常に多かった。八代地区の方からは「小規模特認校の検討を求める。」といった意見が多かった。また、アンケートの中には賛成の意見もあった。出石会場について「出石地域内に小学校は1校がよい。」という意見があり、反対の意見はなかった。

その他の会場について、答申の内容について反対意見はなかった。また、豊小の分散進学について、解消の意見がある一方、現状で問題ないと両方の意見があった。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

資料の意見交換・アンケート結果について、日高会場の意見の「八代地区については、小規模特認校の検討を求めるアンケートの意見が10件中4件であった。」を「八代地区については、10件中4件が小規模特認校の検討を求める意見であった。」に表記を変更してください。

(事務局)

分かりました。変更いたします。

(教育長)

それでは、こども教育課からの報告に移ります。(1) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問・ご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

説明にありましたが、子どもたちが柵を乗り越えてプールに入っていく、ボールを取りにいけることがいけないことだということですか。

(こども教育課長)

子どもたちは柵のあるプールを乗り越えて入っています。進入禁止のところであり、何かあって事故に遭ってははいけません。そうした点が指導の対象だったということです。

各学校には立入禁止の札を作って、貼ってほしいという話をさせていただいています。

(教育長)

続きまして、(2) 夏季休業中の学校閉庁日の実施について、こども教育課長の説明をお願いします。

ます。

(2) 夏季休業中の学校閉庁日の実施について

《こども教育課長の説明概要》

夏季休業中の学校閉庁日の実施について、資料に基づき説明する。

今年度の学校閉庁日を8月13日・14日・15日に設定している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 夏季休業中の研修について、こども教育課長の説明をお願いします。

(3) 夏季休業中の研修について

《こども教育課長の説明概要》

夏季休業中の研修について、資料に基づき説明する。

研修は7月21日を皮切りに8月26日まで、計6回予定している。

(教育長)

希望があれば、委員の皆さんにもぜひ聞いてもらいたいです。8月5日の教育フォーラムは、モデル校2校の小学1・2・3年生で実践している非認知能力向上の取組についての3年目の報告になります。

(飯田委員)

私も行きたいと思っていますので、詳細が決まれば、また教えてください。

(教育長)

続きまして、(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども教育課長の説明をお願いします。

(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども教育課長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級指導生徒数は延べ38人、実数5人となっている。ほぼ毎日来ている生徒は1人おり、木曜日午後に通級指導、金曜日に学校へ登校している。6月1日のおんぷの祭典には、芸術文化観光専門職大学の見学も兼ねて、4人が参加した。

臨床心理士等が行う教育相談は、不登校に関する相談などで5人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談が 18 件あり、センターへの来所や学校園訪問による教育相談は 129 件である。認知能力・視機能・知能などの検査については 12 件実施している。

家庭児童相談の取組状況は、虐待相談で家庭相談員が関わった実件数は 92 件となっている。うち、通告があったのは 2 世帯 3 件である。転入による移管ケースが 1 件あり、関係機関へつなぐなど継続支援を行っている。

その他、学校からの通告により、女兒が母親から背中を蹴られるなどの身体虐待と目撃した弟への心理的虐待として受け付けている。学校から母親へ指導し、見守りを強化している。

また、中学校 1 年生の女子生徒が家に帰りたくないと担任に訴え、面談を実施した。その中で、子どもへの虐待が発覚し、リスクが高いことから県こども家庭センターに通告し、保護者への指導を行っている。

(教育長)

ご質問・ご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

【日程 第 7 委員活動報告】

(教育長)

日程第 7 委員活動報告に移ります。

(成田委員)

日高西中学校へ学校訪問に行かせていただきました。生徒が生活目標に「分離礼」ということを掲げており、実行しようとしている姿を見ました。「分離礼」とは、あいさつの仕方でも、礼をするときに言葉を言ってから一呼吸置いて礼をするということです。ビジネスやサービス業の世界では、マナーの常識として指導されることらしいです。生徒が生活目標の中にそのことを掲げて、実行しようとしている、その姿がとてもよいと思いました。目標を掲げることが子どもたちの意欲につながります。生徒たちが学校の中の規律を整えていこうとしていることが学習やすべてのことに通じていると思ひ、感心して見ておりました。実際に会った子どもたちも廊下で分離礼をしてくれて、よかったと思ひています。私も生徒や子どもたちに会ったときに実践してみましたが、現実の場面ではなかなかうまくいきませんでした。

部活のことです。日高西中学校は小さい学校ですが、卓球部が県内でもトップクラスの活躍をしています。卓球部の指導者は外部からの指導者で、無償で指導に来られているということでした。先生の働き方改革のことや新型コロナウイルス感染症拡大のことはよく議論されるわけですが、外部の指導者による指導の結果、部活の活性化という意味では成功はしているのだろうと思ひます。部活を学校の先生が指導していたときは教育的配慮というものがあったと思ひますが、そうした点はどのようになっているのかなど問題はあると思ひます。今後のことを考えると、よ

い材料を提供してもらったと感じました。

それから、「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会が行われ、私もほとんど行かせていただきました。これは、高校にも密接に関係している問題であり、極端に進んできた少子化ということがあろうかと思います。以前、新文化会館を作ろうということでワークショップがあり、高校生が結構参加していました。私もそのワークショップに参加しており、高校生が若者らしい、とてもよい意見を言うのです。自分は豊岡からいなくなるかも分からないが、こんな文化会館があれば意見を出されていました。先日のトライやる・ウィークにおいても、城崎中学校の生徒がまちづくりについて意見を述べる機会がありました。とてもよい意見を言ってくれたと地域コミュニティの方がおっしゃっていました。

この小中学校における適正規模・適正配置のあり方の問題について、高校生に討論させてみても、まだ子どもだから特に小学校の問題をどうするのかということについて意見を言えないかもしれません。しかし、高校生に、さらに中学生にこの問題を投げ掛けてみたならば、中学生はどのような意見を持つのか、また小学校高学年の児童に投げ掛けてみると、どのようなことを言うのだろうか、そんなことを思いました。演劇的手法を使って議論してみると、面白いのではないかと思いました。

(佐伯委員)

城崎小学校へ学校訪問に行かせていただきました。とても空間が広く、その空間を気持ちよく上手に使っておられました。子どもたちも元気よく手を挙げて発表していました。とても生き生きした表情を見ることができて、よかったですと思います。

「豊岡市立小中学校における適正規模・適正配置のあり方について」答申説明会ですが、日高地域ではたくさんの意見が出ていました。厳しい言い方をされる方も多かったので、意見を言おうと思っていた人たちが萎縮されたのではないかと心配があります。意見を言いやすい場を工夫して作ってあげないといけないのではないかと思います。何かよい方法があればと思います。全体的な説明会を開くことはもちろんのことですが、個別に保護者だけの説明会や地域の方だけの説明会など、そうした開催の仕方も必要だと思います。アンケートで意見を出していただいたり、学校で意見をとりまとめていただくなどのやり方もあるのかもしれません。PTAの方が結構意見を言われていたため、そうした中で他の参加者が意見を言うことは難しかったのかもしれないと思いました。私たちも含めて、何かよい開催方法を考えていきたいと思いました。

出石地域では「小学校は1校でよい。学校名は出石小学校にしてください。」という意見がありました。その意見を言われたのは、移住して来られた方だったと記憶していますが、勇気を出して言われたと思います。その意見に対して、地元の皆さんも追随するような感じで賛成の意見を言われていました。活発な、とてもよい説明会になったと思います。地域の皆さんが壁を越えて1つになれるような雰囲気が見受けられたので、嬉しかったです。

(向井委員)

学校訪問で日高西中学校に行かせていただきました。以前、訪問した各学校と比べて、先生方がICT機器をととても有効に活用されていました。いろいろな教科のあらゆる場面でうまく使われていて、先生方が一所懸命勉強されたことが伝わってきて、嬉しく思いました。

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」地区説明会では、私は神美地

区と新田地区に行かせていただきました。市職員の方が地域に入り、住民の納得が得られるよう何度も説明されて、今があるのだなと感じられて嬉しく思いました。

来年入園予定の4歳児の保護者からは、今後の募集について、両地区からも不安の声が上がっていました。閉園する園の場合、年度当初から新しい園に入園できるのか、途中で転園しなければならないのかということについて、きっちりと説明されていたので、保護者も納得されていたように思います。私が行った地区に関しては、計画に対して反対はほとんどなく、計画どおり進むのではないかと思います。

但馬教育委員会連合会総会後に行われた、平田オリザ学長の講演会に参加しました。「身体的文化資本」について話されました。地方都市に住む子どもたちにとって、博物館や美術館がないことや毎日“勉強しなさい”と言われること、家の手伝いがマイナスになることに関するグラフを見せてもらいました。私も日頃から、地方都市に住む子どもたちは都会の子と比べて、美術館や博物館がないことが不利だと思っていて、本物に触れさせたいという思いを子育てをしながら感じていました。しかし、近年、豊岡市でも、おんぶの祭典が開催されたり、一流のスポーツ選手との交流ができたり、子どもたちが本物を肌で感じられる機会が増えたことを嬉しく思っています。私自身も文化に携わる者として、さらに子どもたちに何ができるのか、改めて考えてみたいと思いました。

それから、1つ質問です。現在、学童保育を希望すれば、全員が入れる状況になっていますか。

(こども育成課長)

申込状況にもよりますが、今のところ待機を出さないよう頑張っている状態です。スペースの問題と支援員確保の問題があります。支援員を募集してもなかなか応募がない状態であり、補助員もいないような本当に苦しい状態で頑張っております。

(向井委員)

子ども何人に対して、指導員が何人必要なのですか。ある場所では、少ない人数のところを3人体制で見られて、手厚いと思うこともあります。

(こども育成課長)

最低2人配置し、子どもの人数に合わせて配置しております。

(飯田委員)

去年からこれまでに、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」地区説明会へは、開催される地区などいろいろなところで参加しました。随分浸透してきたというふうに私は感じました。市民の中には自分の生活だけを見て、周りがよく見えていない方もおられるので、市職員が「実際はこういう状態です」と周りのことを説明したことによって、随分変わってきたと理解しています。やはり懇切丁寧に説明したことにより、理解を得られたのだなと感じました。特に、日高地区会場では、総じて随分変わってきたと嬉しく感じています。

私の地元の区には、25mプールがあり、6レーンぐらいあります。できて半世紀以上になりますが、今年、夏休みに学校のプールがないので、そのプールを子どもたちに使わせてあげたいということで役員会等で話しをしました。実際に利用する育成会に問いかけたところ、保護者にア

ンケートを取られました。ふたを開けてみると、子どもたちは「利用したい」「水遊びがしたい」という回答に対して、保護者の9割方が「泳がせたくない」という回答でした。監視のことや掃除のこと、責任のことなど、マイナスの発言ばかりが出てきました。もっと子どもたちの本当の気持ちを理解し、課題があるなら、その課題をどうやって埋めていこう、区と一緒に頑張ってやろう、どうすれば実現できるだろうというような考え方を基に議論していくことがよいと思います。やめるという判断はすぐにできます。どうしてもダメならやめるという判断ではなく、最初からうちの子もは行かせないという判断をされる保護者が多かったので、とても残念に思いました。

そのようなことが、各地区の説明会に参加していても感じられます。子どものことを本当に考えるよりも、自分のことで判断されています。区や他のいろいろな行事にしても、「世話が大変だから嫌だ」「これは嫌だ」など、自分本位の考え方で物事を判断されています。社会の趨勢と言うのか、これでいいのかなと思っている昨今です。

最近いいなと思うことは、中学生とよくすれ違うのですが、きっちりあいさつしてくれる子どもが増えました。まちで会っても「こんにちは。」と言ってきて、後追いで「こんにちは。」と返事をするのが最近多くあります。そのことは、嬉しいと感じています。

この夏休みが子どもたちにとって、有意義なものになってくれることを念じています。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議の予定や今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第5回定例教育委員会会議は、8月18日(水)午後1時30分から、本庁舎7階第2委員会室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問・ご意見はありませんでしょうか。

(成田委員)

夏季休業中の研修について、8月5日の豊岡市教育フォーラムは行かせていただこうと思います。他の研修について、教育委員は出席させてもらえばよいでしょうか。

(こども教育課長)

ワークショップのような形式の研修もありますので、内容を確認して、あらためてお知らせさ

させていただきます。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の会議は8月18日(水)午後1時30分から第2委員会室で開催します。

これをもちまして、第4回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後2時45分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2021年7月16日

教育長

委員